

これが九段の適性検査だ→

ポイント&アドバイス

適性検査 1 (45分) 時間とお金の関係について書かれた文章を読んで、5つの小問に答える形式。空所補充の問題では、「前後の文をつなぐのに適当な語句」というように、設問自体が大きなヒントになっている。見落とさないようにしたい。問われていることをはっきりさせた上で、問題に取り組むように。

適性検査 2 (45分) 大問4問構成で、写真・図・資料などが多用されているのが特徴。2問目は、コンテナ船に積まれたコンテナがテーマとなっている。コンテナの積み方にどのような工夫がされているか答えるという問題。3問目は、てんびんのつり合いについての問題だが、設問が多いので注意したい。なお、1問目は放送問題であり、P123の放送問題の留意点を参考に、あわてないで解くことが大切。

適性検査 3 (45分) 大問3問構成。1問目はこう配に関する問題。等高線についての問題は難しくはないが、書き出しの指定があるので注意。3問目では、円とドルの関係について考える出題がある。設問をじっくり読んで取り組みたい。

適性検査の問題を見たいときは? →区立九段中等教育学校のホームページ《入学に向けて》に掲載されています。

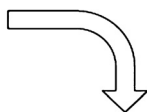
適性検査 2 平成23年度適性検査2大問2問題3から抜粋

〔あきこ〕 この近くに地層が出ているがけがあるのよ。行ってみましょう。

〔はるお〕 遠くから見ると、しま模様だけれど、近くで見るとそれぞれの層をつくっているつぶの種類も大きさも違うし、地層の幅も一つ一つちがうことがわかるね。



〔写真6〕 がけに見られる地層



〔写真7〕 二枚貝の化石をふくむ地層

問3

下線部②のように、〔写真6〕のようながけで地層を観察する時に、注意しなければならないことを4つ以上書きなさい。

解説

がけで地層を観察するときの注意点を4つ以上書きます。安全面に注意をはらうような内容を書けばよいでしょう。

解答例(学校発表)

- ① 服装は長そで・長ズボンにして、ぼうしをかぶる。作業用の手袋を準備する。
- ② 落石に注意する。小さな石ころが落ちてきたら、その後大きな石が落ちてくる可能性がある。
- ③ 転落の危険があるので、がけの上からはのぞきこまない。
- ④ ハンマーを使うときは、破片が飛び散るので安全めがねをかける。

そのほか、必要以上に化石をとらないなどを、書くこともできます。

プラスアルファ

地層が作られたときの自然環境がわかる化石をみなさんは知っていますか。たとえば、アサリ・カキは、発見された場所が浅い海だったことがわかります。また、シジミの場合は、発見された場所が河口または湖(淡水)だったことがわかります。他にも、地層がたい積した時代を知るのに役立つ化石もあります。